



2022年5月12日

各 位

会社名 日本製麻株式会社
 代表者名 取締役社長 中本 広太郎
 (コード番号 3306 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役経理部長 中川 昭人
 (TEL. 078-332-8251)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2021年11月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,091	33	36	25	6.82
今回発表予想(B)	3,151	57	74	48	13.18
増減額(B-A)	60	24	38	23	—
増減率(%)	1.9	72.7	105.6	92.0	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	3,275	11	20	95	25.98

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,212	50	33	9.00
今回発表予想(B)	2,154	59	43	11.74
増減額(B-A)	△58	9	10	—
増減率(%)	△2.6	18	30.3	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	2,396	101	128	34.95

修正の理由

(1)連結業績

2022年3月期通期連結業績につきましては、マット事業の海外子会社は期末に販売数量を伸ばしました。また、生産体制の合理化を推進しコスト削減に努めました。その結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(2) 個別業績

2022年3月期通期個別業績につきましては食品事業において、業務用商品は飲食店の営業自粛や時短営業等が続いたため減収となりましたが、原材料価格高騰の状況下利益確保に努めて増益となりました。この影響により売上高、経常利益、当期純利益を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、本予想数値と異なる可能性があります。

以上